

都市構造可視化の活用

～活用事例と今後の活用について～

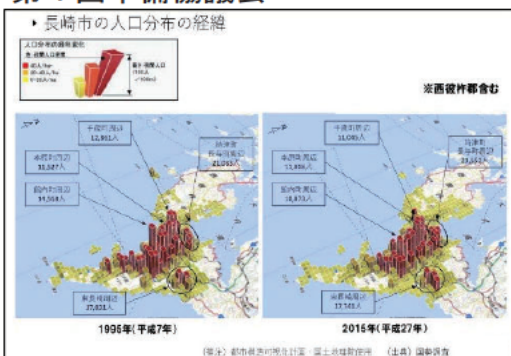


長崎県
長崎市 都市計画課

1. 活用事例

都市再生緊急整備地域の指定に向けた準備協議会にて活用

第1回準備協議会



都市構造可視化を用いて
長崎市の現状分析を行った

分析項目

- ・ 人口分布の経年変化
- ・ 昼間人口分布の経年変化
- ・ 産業の密度と経年変化(第二次・第三次産業)
- ・ 販売額分布の経年変化



年齢別で人口分布の
経年変化を見たい

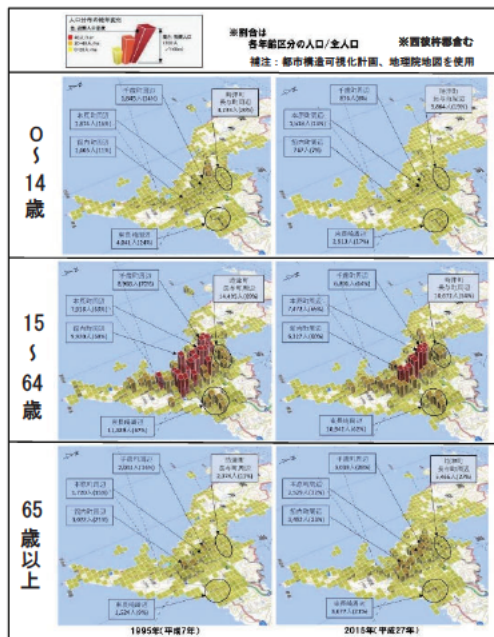
年齢層

- ・ 0～14歳
- ・ 15～64歳
- ・ 65歳以上

2.活用事例

都市再生緊急整備地域の指定に向けた準備協議会にて活用

第2回準備協議会



視覚的にわかりやすい



説明が容易にできる
説明の効率化につながる

3.普及活動

職場内において都市構造可視化の概要や操作方法を紹介



■職員からの主な意見

- ・誰でも簡単に操作ができ、様々なデータを簡単に見ることができるため、操作していて楽しい
- ・表示されるデータは、都市の特徴や問題点が直感的に見えてわかりやすい
- ・市民との合意形成や様々な資料づくりに活用できそう

4. 今後の活用

普及活動を行った結果、活用アイデアがでてきた

■令和2年度予定の用途地域第6回定期見直しに活用できないか

- ・①～②を面的にみて見直しの参考としたい
- ・ニーズ（時代の潮流）を捉えた都市計画をつくりたい

①使用容積率×土地利用制限（3系：商業系,工業系,住居系）の変遷

住宅：都心回帰のニーズ

→容積緩和の動機付け

商業：拠点性の移り変わり（都心から北や東へ）

→拠点性に応じた容積緩和

工業：工業から住宅・商業への移り変わり

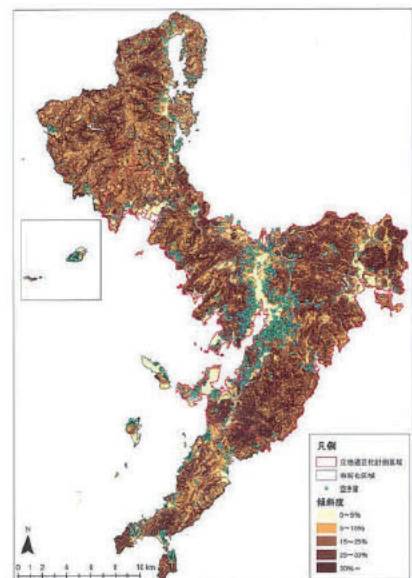
→これまで工場に支配されていたウォーター
フロントを市民が近づける水辺に変えていく

5. 今後の活用

普及活動を行った結果、活用アイデアがでてきた

②空き地や空き家の発生状況の変遷

都市のスポンジ化：斜面市街地で進行顕著
→ダウンゾーニング



● 空き家 (H25消防局調査)

6.まとめ

都市構造可視化を使用してみての所見

■様々な意見

- ・過去の航空写真を取り込み、変遷を可視化したら面白い
- ・メッシュを細かくすることで、詳細な検討ができるのではないかな
- ・道路網を表示することで、多角的な検討ができるのではないかな
- ・地価(路線価)や、地区の建物の平均築年数を可視化することで、民間の建替え等を促進するのではないかな

■まとめ

- ・既存のデータ(基礎調査等)を組み合わせることで、更に様々な検討が可能になるのではないかと感じた
- ・様々な分野に活用できる可能性があるため、誰でも使える環境整備を行う必要があると感じた

長崎県 長崎市 都市計画課

都市の紹介

